

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-004372

(43)Date of publication of application : 09.01.1990

(51)Int.Cl.

A61F 13/56

A44B 18/00

A61F 13/58

(21)Application number : 63-319336

(71)Applicant : PROCTER & GAMBLE CO:THE

(22)Date of filing : 17.12.1988

(72)Inventor : ROBERTSON ANTHONY J
SCRIPPS CHARLES L

(30)Priority

Priority number : 87 134275
87 134349Priority date : 17.12.1987
17.12.1987

Priority country : US

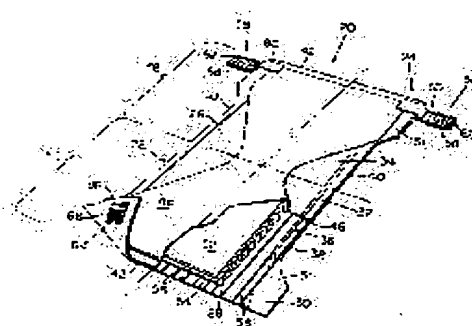
US

(54) MECHANICAL FASTENER SYSTEM PROVIDED WITH DISPOSABLE MEANS FOR DISPOSABLE ABSORPTIVE PRODUCT

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily dispose an absorptive product by arranging a disposable means on the section of a main body for fixing the form of the absorptive product so as to easily dispose it.

CONSTITUTION: A diaper 20 has a disposable means 68 as a separated element composed of a 2nd fastener element 106 fixed on one tape tab 60 at least. It is preferable for the disposable means 68 to be provided with the 2nd fastener element 106 fixed on a rear pad surface 72 of each tape tab 60. This 2nd fastener element 106 can be arranged on a fastener surface 70 of the tape tab 60 as well but it is desirable to arrange this disposable means 68 on the rear pad surface 72 of the tape tab 60 so that a 1st fastener element 62 of the tape tab 60 on the opposite side can be easily fixed to the 2nd fastener element 106 for easily closing the tape tab 60 so as to dispose the diaper 20. Besides, the 2nd fastener element 106 is arranged on a connecting section 78 adjacently to the terminal edge of the tape tab 60.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-4372

⑮ Int. Cl.⁵
A 61 F 13/56

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 平成2年(1990)1月9日

6154-3B A 41 B 13/02
6154-3B

H
J※

審査請求 未請求 請求項の数 19 (全15頁)

⑰ 発明の名称 使い捨て吸収性製品用の使い捨て手段を備えた機械的ファスナーシステム

⑱ 特 願 昭63-319336

⑲ 出 願 昭63(1988)12月17日

優先権主張 ⑳ 1987年12月17日㉑ 米国(US)㉒ 134275

⑳ 発 明 者 アントニー、ジョン、 アメリカ合衆国オハイオ州、ブルー、アッシュ、2デー、
ロバートソン デイアークロス、パークウェイ、9272

㉑ 出 願 人 ザ、プロクター、エン アメリカ合衆国オハイオ州、シンシナチ、ワン、プロクタ
ド、ギャンブル、カン ー、エンド、ギャンブル、ブラザ(番地なし)
パニー

㉒ 代 理 人 弁理士 佐藤 一雄 外2名
最終頁に続く

明細書の浄書(内容に変更なし)
明 細 書

1. 発明の名称

使い捨て吸収性製品用の使い捨て手段を備えた機械的ファスナーシステム

2. 特許請求の範囲

1. 内側面、外側面、縦線、第1末端区域および第2末端区域を有する本体部分と、

前記本体部分上に配置された機械的ファスナーシステムとを有する使い捨て吸収性製品において、

前記機械的ファスナーシステムにおいては、

閉鎖部材が前記本体部分の前記第1末端区域の中において各縦線に隣接して配置されそれぞれ第1ファスナー要素を含むこと、

ランド部材が前記本体部分上にて前記第2末端区域の中に配置され、このランド部材は前記第1ファスナー要素と係合可能な第2ファスナー要素を含むこと、

使い捨て手段が前記吸収性製品を簡単に廃棄す

明細書の浄書(内容に変更なし)

る形状に固定するため前記本体部分上に配置されることを特徴とする機械的ファスナーシステムを有する使い捨て吸収性製品。

2. 前記の使い捨て手段は、前記第1ファスナー要素と係合できる第2ファスナー要素、または接着剤固着手段およびリリースライナ、または前記本体部分の上に配置された接着剤テープタブ、または少なくとも一方の好ましくはそれぞれの閉鎖部材の前記第1ファスナー要素の下方に配置された接着剤固着手段であって前記第1ファスナー要素が前記使い捨て手段に対して着脱自在に固着されて使い捨て製品が汚れた時に前記使い捨て手段から剥離されて前記接着剤固着手段を露出させて吸収性製品を簡単に廃棄できる形状に固定する接着剤固着手段、または第1ファスナー要素および第2ファスナー要素である事を特徴とする請求項1に記載の吸収性製品。

3. 前記使い捨て手段は前記第1末端区域の中に、好ましくは前記本体部分の各縦線に隣接して配置される事を特徴とする請求項1または2に

特開平2-4372 (2)

明細書の浄書(内容に変更なし)

明細書の浄書(内容に変更なし)

記載の吸収性製品。

4. 前記使い捨て手段は前記本体部分の前記外側面上に配置される事の特徴とする請求項3に記載の吸収性製品。

5. 前記使い捨て手段は前記本体部分に接合された別個の要素である事の特徴とする請求項4に記載の吸収性製品。

6. 前記使い捨て手段は好ましくは前記第1末端区域において、もっとも好ましくは前記末端縁に沿って横方向にセンタリングして、前記末端縁の一つに隣接して位置する接着剤テープタブを含む事の特徴とする請求項2に記載の吸収性製品。

7. 前記閉鎖部材は内部ファスナー部材を含む事の特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の吸収性製品。

8. 前記閉鎖部材は、前記本体部分の第1末端区域の各縦縁に隣接して配置されたテープタブを含み、各テープタブはファスナー面と裏あて面とを有する事の特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の吸収性製品。

9. 前記使い捨て手段は、前記吸収性製品を簡単に捨てる形状に前記テープタブによって固定するように、前記テープタブの少なくとも一つ、好ましくはそれぞれと組合される事の特徴とする請求項8に記載の吸収性製品。

10. 前記使い捨て手段は前記テープタブの前記裏あて面に、好ましくは前記テープタブの末端縁に隣接して接合される事の特徴とする請求項9に記載の吸収性製品。

11. 前記のテープタブは、第1固定部分と、前記第1固定部分を前記本体部分の内側面に接合するため前記第1固定部分と前記内側面とに組合された第1タブ固着手段と、前記第2固定部分を前記本体部分の外側面に接合するため前記第2固定部分と前記外側面とに組合された第2タブ固着手段と、ファスナー面と裏あて面とを有する連結部分とを含み、前記第1固定部分と、前記第2固定部分と、前記連結部分とは、前記本体部分の各縦縁に隣接した接合区域の中において相互に接合され、また前記第1ファスナー要素は、前記連結

明細書の浄書(内容に変更なし)

部分を前記本体部分に連結するため、前記連結部分の前記ファスナー面の少なくとも一部の上に接合される事の特徴とする請求項8、9または10のいずれかに記載の吸収性製品。

12. 使い捨て吸収性製品を廃棄形状に固定する方法において、

(a) 本体部分と機械的ファスナーシステムとを有し、

(i) 第1ファスナー要素を有する閉鎖部材と、

(ii) 前記第1ファスナー要素に係合できる第2ファスナー要素を有するランド部材と、

(iii) 前記本体部分上に配置された第2ファスナー要素から成る使い捨て手段とを含む使い捨て吸収性製品を準備する段階と、

(b) 前記使い捨て吸収性製品を廃棄形状に形成する段階と、

(c) 前記使い捨て吸収性製品を前記使い捨て手段によって廃棄状態に固定する段階とを含む方法。

13. 前記使い捨て手段は第2ファスナー要素を含み、前記(c)段階は前記第2ファスナー

明細書の浄書(内容に変更なし)

要素を前記閉鎖部材の第1ファスナー要素に固着する段階を含む事の特徴とする請求項12に記載の方法。

14. 前記使い捨て手段は、接着剤固着手段、好ましくは接着剤テープタブおよびリリースライナーを含み、前記(c)段階は、前記接着剤固着手段を前記リリースライナーから除去する段階と、前記接着剤固着手段を前記使い捨て吸収性製品の前記本体部分に対して固着または前記接着剤固着手段を相互に固着する段階とを含む事の特徴とする請求項12に記載の方法。

15. 前記使い捨て手段は、前記第1ファスナー要素の下方に配置された接着剤固着手段を含むので、前記第1ファスナー要素が前記使い捨て手段に対して着脱自在に固着され、前記段階(c)は前記第1ファスナー要素を前記接着剤固着手段から剥離して、前記第1ファスナー要素の下側面に配置された前記接着剤固着手段を露出する段階と、前記接着剤固着手段を前記使い捨て吸収性製品の前記本体部分に固着または前記接着剤固着

明細書の淨書(内容に変更なし)

手段を相互に固着する段階とを含む事の特徴とする請求項12に記載の方法。

16. 前記使い捨て手段は第1ファスナー要素と第2ファスナー要素とを含み、前記段階(c)は前記第2ファスナー要素を前記第1ファスナー要素に固着する段階を含む事の特徴とする請求項12に記載の方法。

17. 前記使い捨て吸収性製品は前記本体部分の第2末端区域のパネルを内側に折り畳む事と前記使い捨て吸収性製品をその廃棄形状にまとめる事によって廃棄形状になされる事の特徴とする請求項12、13、14、15、16または17のいずれかに記載の方法。

18. 前記第1ファスナー要素と第2ファスナー要素は袖形の別個要素である事の特徴とする請求項1乃至17のいずれかに記載の吸収性製品。

19. 前記第1ファスナー要素はフックファスナー部材を含み、前記第2ファスナー要素はループファスナー部材を含む事の特徴とする請求項18に記載の吸収性製品。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は使い捨て吸収性製品用のファスナーシステムに関するものであり、特に吸収性製品を簡

便に捨てるための使い捨て吸収性製品用の改良型機械的ファスナーシステムに関するものである。

〔従来技術と問題点〕

オシメなどの使い捨て吸収性製品の胴部を固着するために接着剤テープファスナーシステムを使用する事は公知である。これらの型の接着性テープファスナーシステムは米国特許No.28,151および米国特許第3,848,594号に記載されている。

接着性テープファスナーシステムは、使用中の使い捨て吸収性製品を着用者上に保持する固着手段である。さらに再固定可能な接着性テープファスナーシステムは、使い捨て吸収性製品を廃棄のために固いパッケージ状に折り畳みまたは巻上げて、廃棄形状に固定し、簡単にゴミ箱の中に捨てる事を可能にする。このような接着性テープファスナーシステムが巻き上げられた吸収性製品に固着された時、この吸収性製品を投げ捨ててもその内容物は漏れない。

しかし接着性テープファスナーシステムは多くの欠点を有する。その1つは、このシステムが油

または粉末によって汚染されやすく、これがテープタブ上の接着剤と接触すると接着剤が有効な側面閉鎖を成すに十分な強さをもって吸収性製品に接着しない事である。さらに吸収性製品が汚れたかいかをチェックするため、またはそのフィットを調節するためテープファスナーシステムが緩められた時に、接着性テープファスナーシステムが吸収性製品のバックシートを引き裂く可能性がある。従ってバックシートに孔が開けられ、テープファスナーシステムを固定する事ができなくなり、テープファスナーシステムが使用できなくなる。従って、油または粉末によって容易に汚染されず、再固定が容易であり、吸収性製品またはテープファスナーシステムを緩めた後に使用不能としないファスナーシステムを提供するにある。

吸収性製品の本体部分の上に機械的ファスナーシステムを備えた洗濯可能なオシメを提供するための多くのアイデアが提案された。フックおよびループ型の機械的ファスナーは、接着剤テープファスナーシステムと比較して一般に油または粉末

によって汚染されにくく、再固定の容易なファスナーシステムを成すが、吸収性製品を巻き上げてその汚物を収容し簡単に投げ出せるように廃棄状態に固定する使い捨て構造を有しない。一般に、フックファスナー部材が吸収性製品の第1末端区域に配置され、ループファスナー部材が吸収性製品の第2末端区域に配置される。従って廃棄のため吸収性製品が折り畳まれまたは巻き上げられた時、ループファスナー部材が吸収性製品の他の部分の下方に押し込まれるので、ループファスナー部材に係合する事ができない。さらにフックファスナー手段は吸収性製品の露出区域に対して、特にバックシートに対して固着されないで、吸収性製品は廃棄形状に簡便に固定できない。従って、吸収性製品を簡便に廃棄する事のできる機械的ファスナーシステムを提供する事が好ましい。

〔発明の目的および効果〕

従って、本発明の目的は、改良型ファスナーシステムを有する使い捨て吸収性製品を提供するにある。

本発明の他の目的は、改良型機械的ファスナーシステムを有する使い捨て吸収性製品を提供するにある。

本発明のさらに他の目的は、使い捨て吸収性製品を簡便に廃棄する事のできる使い捨て手段を備えた機械的ファスナーシステムを有する使い捨て吸収性製品を提供するにある。

【発明の概要】

本発明によれば、吸収性製品を簡便に廃棄する事のできる機械的ファスナーシステムを備えたオシメなどの使い捨て吸収性製品が提供される。

機械的ファスナーシステムは多くの形状をとる事ができるが、テープタブと第1ファスナー要素を含む閉鎖部材と、この閉鎖部材の第1ファスナー要素と係合する第2ファスナー要素を有するランド部材と使い捨て手段とを含む。使用に際して第1ファスナー要素が第2ファスナー要素に係合して吸収性製品の確実な側面閉鎖を成す吸収性製品が汚れた後に、汚物が吸収性製品から漏れる事を防止する廃棄形状に吸収性製品を折り畳みまたは

巻き上げる。つぎに吸収性製品をその廃棄状態に固定する。

本発明の使い捨て手段は、吸収性製品が汚物を収容する廃棄形状に固定されるための任意の手段を含む。従って使い捨て手段は吸収性製品の本体部分またはファスナーシステムの上に配置される種々の要素を含む事ができる。好ましくは、使い捨て手段は少なくとも一つのテープタブの裏あて面に固着された第2ファスナー要素を含み、他方のテープタブの第1ファスナー要素がこの使い捨て手段の第2ファスナー要素に係合して、吸収性製品を廃棄状態に固定する。故に、使い捨て手段は、テープタブ上に配置されたバックファスナー部材またはループファスナー部材の機械的ファスナー要素を含む事ができる。あるいは、使い捨て手段は、吸収性製品が汚れた時に使用するためのその他任意の機械的ファスナー要素、本体部分またはファスナーシステムの上に配置された接着剤固着手段、あるいは本体部分の上に配置された単数または複数個の別個の接着剤テープタブを含む事

ができる。

【実施例】

以下、本発明を図面に示す実施例について詳細に説明する。

本発明の機械的ファスナーシステムは使い捨て吸収性製品に使用するのに好適である。この明細書において、「使い捨て吸収性製品」とは身体からの排泄物を吸収し収容する製品、さらに詳しくは身体から排泄される種々の排泄物を吸収し収容するため着使用者の身体に当接または近接して配置され、1回の使用後に廃棄される製品（すなわち洗濯またはその他の方法で回収されあるいは再使用されない製品）を言う。本発明の好ましい使い捨て吸収性製品はオシメ20である。この明細書において、「オシメ」とは一般に幼児または失禁者によって着用され、その脚の間に引き上げられまたはウエスト回りに固定される衣類を言う。本発明を非常に容易に適用する事のできる種類のオシメは前記の米国特許第28,151号および米国特許第3,880,003号に記載され、これらの両特許を引例と

して加える。下記の説明から明かなように、下記に図示説明する機械的ファスナーシステムはこのようなオシメの本体部分に使用される。他方において、本発明は特定のオシメ構造または形状に限定されるものではない。

付図において、第1図はオシメのユーザによって着使用者の身体に配置される前の本発明のオシメ20の部分破断斜視図である。第1図に見られるように、好ましいオシメ20は本体部分22と機械的ファスナーシステム24とを含む。好ましい本体部分22は、透液性トップシート26と、吸収性コア28と、不透液性バックシート30と、弾性収縮性脚カフス32とを含み、この脚カフス32はサイドフラップ34と単数または複数個の弾性部材38とを含む。トップシート26と、吸収性コア28と、バックシート30と、サイドフラップ34と、弾性部材38は種々の公知の構造に組立てる事ができるが、好ましい使い捨てオシメ構造は米国特許第3,880,003号に記載され、これを引例として加える。

第1図は本体部分22の好ましい実施態様を示し、

トップシート28とバックシート30は同延長であつて、吸収性コア28より大なる長さとなつて有する。トップシート28はバックシート30の上に重なり合ひ、本体部分の外周部分38を成す。この外周部分38は、本体部分22の外周を成し、すなわちその外延を限定する。外周部分38は縦縁40と末端縁42を含む。

本体部分22は内側面44と外側面46とを有する。一般に外側面46はオシメの一方の末端縁42から他方の末端縁42まで、また一方の縦縁40から他方の縦縁40まで延在し、オシメの使用中に着用者から離れた面である。バックシート30が使用される場合、このバックシートは本体部分22の外側面46を成す。内側面44は外側面46の反対側の面であつて、図示の実施例においてはトップシート28によつて形成される。一般に、内側面44は外側面46と同延長であつて、オシメ20が着用される時に、その大部分が着用者に接触する。

オシメ20は、それぞれオシメ外周38の末端縁42からオシメ20の横方向中心線に向かつて延在する

第1および第2区域48,50を有する。これらの末端区域48,50は、それぞれオシメの長さの約半分延在し、各区域がオシメ20のそれぞれ半分を占める。

第1末端区域48と第2末端区域50はそれぞれパネル51を有する。これらのパネルは、オシメ20が着用者のウエスト回りに固着された時に重なり合う末端区域部分である。末端区域が重なり合う延長、すなわちパネル51の延長は、オシメ20の全体寸法と着用者のサイズとに依存する。

吸収性コア28は、一般に圧縮性で、形状一致性で、着用者の皮膚を刺激せず、液体および排泄物を吸収し収容する事のできる任意手段とする。吸収性コア28は種々の形状に形成する事ができ(例えば、長方形、砂時計型など)、また一般にエアフェルトと呼ばれる粉砕ウッドパルプなど、使い捨てオシメおよびその他の吸収性製品の製造に使用される各種の液体吸収性材料で製造する事ができる。他の適当な吸収性材料の例は、糸絨、吸収性フォーム、吸収性スポンジ、超吸収性重合体、吸収性ゲル化材料、またはその他の同等の材料あ

るいはその組合せである。しかし吸収性コア28の全吸収能力はオシメ20の特定の用途における設計排泄物装入量に対応しなければならない。さらに吸収性コア28のサイズと吸収能力は幼児から成人までの範囲内の着用者に対応するように変動されなければならない。

吸収性コア28は米国特許第4,810,678号に記載のように、単一層の吸収性材料から成る事ができ、この特許を引例として加えるが、吸収性コア28の好ましい実施態様は、米国特許第4,873,402号に記載のような二重層吸収性コアであつて、この特許を引例として加える。この構造は非対照形状の上層52と下層54とを有する。上層52は、好ましくは親水性繊維材料から成る液体吸収/分布層として作用する。下層54は、親水性繊維材料と、吸収性ゲル化材料粒子(ハイドロゲル材料)との混合物から成る液体貯蔵層として作用する。上層52と下層54はそれぞれティッシュ層の中に包囲された吸収性層から成る。しかし、上層52または下層54のサイズ、形状、構造および全吸収能力は幼児から成

人までの範囲の着用者に適合するように変動される。従つてこれらの層の寸法、構造および形状は任意に変更する事ができる(例えば、上層あるいは下層が可変的キャリパ、親水性グラジエント、急速吸収区域を有し、または吸収性ゲル化材料を含有する事ができる)。

吸収性コア28はバックシート30の上に重ねられ、好ましくはこれに対して業界公知の、例えば高圧接着剤、ホットメルト接着剤またはその他の接着剤、超音波接合、または熱/圧密封などのコア取り付け手段55によつて取り付けられる。吸収性コア28はバックシート30に対して接着剤の均一連続層、パタン層または接着剤の別々の線または点の列によつて固着する事ができる。満足である事が発見された接着剤はホットメルト接着剤、例えば、テネシー、キングスポート、イーストマンケミカルプロダクツ社によつて製造され、商標Eastobond A-3によつて市販されている製品または、オハイオ、コロンバス、センチュリーアドヘッシブ社によつて製造され商標Century 5227で市販さ

れている製品である。コア取り付け手段55は米国特許第4,573,988号に記載のような接着剤フィラメントの開放パターンネットワークから成る。この特許を引例として加える。

バックシート30は不透液性であつて、好ましくは薄いプラスチックフィルムによつて製造されるが、他の可撓性不透液性材料を使用する事もできる。バックシート30は、吸収性コア28の中に吸収され収容されている排泄物がシートおよび下着などのオシメ20と接触する製品を汚す事を防止する。好ましくは、バックシート30は厚さ約0.012mm (0.5ミル) ~ 約0.051mm (2.0ミル) のポリエチレンフィルムとするが、他の可撓性不透液性材料を使用する事もできる。この場合「可撓性」とは、形状一致性であつて、人体の全体形状および輪郭に容易に合致する材料を言う。

適当なポリエチレンフィルムは、モンサントケミカル社によつて製造され商標Film No. 8020で市販されている。バックシート30は好ましくは布様外観を生じるためエンボス加工および/またはツ

ヤ柄し加工仕上げをされる。さらに、バックシート30は、排泄物を通過させながら吸収性コアから水蒸気を脱出させる事ができる。

バックシート30のサイズは、吸収性コア28のサイズおよび選定された正確なオシメ設計によつて決定される。好ましい実施態様においてバックシート30はオシメ外周38全体から外側に少なくとも約1.3cm ~ 約2.5cm (約0.5 ~ 約1.0インチ) の最小距離だけ吸収性コアから延長された変形秒時計の形状を有する。

本発明の製品の本体部分22のトップシート28は形状一致性の、柔らかな感触を有する。着用者の皮膚を刺激しないものである。さらに、このトップシート28は液体を容易に貫通させる透液性である。適当なトップシート28は、多孔性フォーム、網状フォーム、アパチュアフィルム、天然繊維(木部繊維または綿繊維)、合成繊維(例えばポリエステルまたはポリプロピレン繊維)、または天然繊維と合成繊維との組合せから製造する事ができる。好ましくはトップシート28は吸収性コア28

の中に保持された液体から着用者の皮膚を隔離するために不透水性材料から作る。

特に好ましいトップシート28はデラウエア、ウイミングトン、ハーキュリーズ社から市販されているハーキュリーズタイプ151などの約1.5デニールのステープル長ポリプロピレン繊維を含む。この場合「ステープル長繊維」とは少なくとも約15.9mm (0.625インチ) の長さを有する繊維を言う。

トップシート28を製造するために使用される多くの技術がある。例えばトップシート28は織布、不織布、スパンボンディッド布、カーディッド布、ハイドロフォームド布とする事ができる。トップシート28は業界公知の手段によつてカージグ処理され、熱接合される。好ましくはトップシート28は約15 ~ 約30g/平方メートルの坪量と、マシン方向においてセンチメートル当り少なくとも約400gの最小乾燥引張り強さと、クロスマシン方向においてセンチメートル当り少なくとも約55gの引張り強さとを有する。

トップシート28とバックシート30はオシメ業界

公知の任意適当な手法によつて相互に組合される。この場合、「組み合わされる」とは、トップシート28をバックシート30に対して直接に固着する事によつてバックシートに対して直接に接合する構造、およびトップシート28を介在部材に対して固着し、この介在部材をバックシートに固着する事によつてバックシート30に対して間接的に接合する構造とを含む。好ましい実施態様において、トップシート28とバックシート30は接着剤または業界公知のその他任意の取り付け手段などのフラップ取り付け手段58によつてオシメ外周38に沿つて相互に直接に接合される。一般に、吸収性コア28をバックシート30に対して固着するコア取り付け手段55も前記のフラップ取り付け手段58と同一の手段とする。従つて例えば、前記の米国特許第4,573,988号に記載のような、接着剤の均一連続層、パターン層、別々の線または点の列、あるいは接着剤フィラメントのネットワークを使用する事ができる。

弾性的に収縮性の脚カフ32が 本体部分22の

外周38に隣接して、好ましくはオシメの縦線40に沿って配置され、これらの脚カフス32がオシメを引っ張って、着用者の脚に当接保持させる。脚カフス32はオシメ業界公知の任意の手段とする事ができるが、特に好ましい脚カフス構造は、前記の米国特許第3,860,003号に詳細に記載のように、サイドフラップ34と単数または複数の弾性部材38とを含む。さらに弾性収縮性脚カフスを有する使い捨てオシメの製造に達した方法および装置は米国特許第4,081,301号に記載されており、この特許を引例として加える。好ましい実施態様において、弾性収縮性脚カフス32はサイドフラップ34と、弾性紐から成る弾性部材38とを含む。

オシメ20は側面閉鎖を成すための機械的ファスナーシステム24を備える。すなわちオシメ20が着用者に対して取り付けられる際に、その第1末端区域48と第2末端区域50が重なり合状態に保持される。

第1図に図示の本発明の好ましい実施態様において、ファスナーシステム24は、第1末端区域48

の縦線40に沿って配置されたテープタブ60および第1ファスナー要素82とを有する閉鎖部材58と、本体部分22の外側面46の第2末端区域50の中に配置されて前記第1ファスナー要素82と係合する第2ファスナー要素86を有するランド部材64と、オシメ20を簡単に廃棄できるように使い捨て形状に固定するように本体部分22またはファスナーシステム24、好ましくはテープタブ60上に配置される使い捨て手段88とを含む。

各閉鎖部材58は、オシメ20の確実な側面閉鎖をなすようにランド部材64と係合する機械的ファスナー手段を成すものである。従って閉鎖部材58は少なくとも1つのファスナー要素82を含む。また各閉鎖部材58は、好ましくは側面閉鎖のため第1ファスナー要素82をランド部材64に隣接して配置するための手段を含む。すなわち閉鎖部材58は、オシメ20の内側面および/または外側面に固着された内部ファスナー部材、テープタブまたはベルトなど、オシメ20の側面閉鎖を成すための任意公知の構造および固着手段を含む事ができる。好ま

しい閉鎖部材58は内部ファスナー部材またはテープタブを含む。

内部ファスナー部材は、オシメ20の本体部分上に配置されたファスナー要素またはファスナー要素と接着剤固着手段との組合せを含む。従って好ましい内部ファスナー部材は、フックファスナー材料のストリップまたはパッチから成る第1ファスナー要素82とする。内部ファスナー部材は、本体部分の内側面44または外側面46、あるいは第1末端区域48または第2末端区域50など、本体部分の任意の箇所に配置する事ができる。好ましくは本体部分の内側面44の第1末端区域48の中に、それぞれ縦線40に隣接して、ランド部材64と係合するように配置される。各内部ファスナー部材の第1ファスナー要素82は、本体部分に対して接合され、本体部分22のパネル51において好ましくは約1インチ幅（長手方中心線に対して直方方向）×約2.5インチ（すなわち、長手方中心線に対して平行方向）の面積を有する。この内部ファスナー部材の実施例は米国特許第4,689,622号に記載され、

これを引例として加える。

第1図と第2図に図示のように、閉鎖部材58は好ましくはテープタブ60を含む。テープタブの任意公知の構造および形状を使用する事ができる。好ましいテープタブは、米国特許第3,848,594号に詳細に記載されているY形のテープタブであって、この特許を引例として加える。他の好ましいテープタブは、同時係属継続特願第078,345号に詳細に記載され、この特願を引例として加える。第1図に図示のように、テープタブ60は本体部分22の各縦線40に隣接して最も好ましくは第1末端区域48に配置される。

特に好ましいテープタブ60は第2図に図示されファスナー面70と裏あて面72とを有する。ファスナー面70は本発明のランド部材64と係合するテープタブの面である。すなわち、ファスナー面70はオシメの本体部分22の内側面44に対応し、その上に接着剤固着手段83と第1ファスナー要素82とを備える。裏あて面72は、ファスナー面70と反対側の面であって、オシメ本体部分22の外側面46に対

応する。従って、裏あて面72はオシメ20の着用中露出されている。

第2図に図示の好ましいテープタブ80は、本体部分22の内側面44と外側面48に対して固着されて、メーカーの末端を成す（すなわち、オシメ20に対するテープタブの固着がオシメの製造中に実施される）。テープタブ80はユーザの末端としての他の要素を有する（すなわち、オシメを着用者に取り付ける人によって作られる離手部分）。すなわち本発明の好ましいテープタブは少なくとも下記の3要素を有する：第1固定部分74、第2固定部分78、連結部分78。第1固定部分74は本体部分22の内側面に取り付けられた部分である。第2固定部分78は本体部分22の外側面48に取り付けられた部分である。従って第1固定部分74と第2固定部分78は、テープタブ80のメーカーの末端を成す。連結部分78は、使用者が着用者に対してオシメ20を固着する際にこのオシメ20の他の部分に対して、一般にランド部材84に対して取り付けられる部分である。従ってこの連結部分78はユーザの末端を成

す。さらに、第2固定部分78の外側面と連結部分78の外側面はテープタブ80の裏あて面72を成すが、第1固定部分74の内側面と連結部分78の内側面はテープタブ80のファスナー面70を成す。

本発明の好ましいY形テープタブ80はいくつかの手法で製造する事ができる。第1固定部分74、第2固定部分78、および連結部分78は、それぞれ本体部分20の縫線40に隣接して接合区域において相互に接合される別々のテープである。テープタブ80のさらに実質的構造は、連結部分78と、第1固定部分74または第2固定部分78のいずれかとが一体的テープストリップを成す構造である。第2図に図示のように連結部分78が第2固定部分78と一体を成す場合、第1固定部分74は本体部分22の縫線40に隣接した接合区域80において、連結部分78/第2固定部分78結合体に連結された別個の要素である。

第2図はテープタブ80を本体部分22に対して固着するためのタブ固着手段を示す。この手段は適当な接合を成す任意の固着手段、好ましくは接着

剤業界公知の任意の感圧接着剤とする。第1固定部分74の第2面75'が本体部分22の内側面44に対して、第1タブ固着手段80によって固着される。第2固定部分78の第1面77が本体部分22の外側面48に対して、第2タブ固着手段82によって固着される。連結部分78は、その第1面79上に第1ファスナー要素82を第2タブ固着手段82（あるいは、連結部材78が第2固定部分78とは別個の要素であれば第3タブ固着手段）によって取り付けられている。しかし接着剤固着手段を別個に第1ファスナー要素82上に配置し、これを連結部分78に接合する事もできる。

テープタブ80の好ましい素材は、ミネソタ、セントポール、ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング社から入手されるテープコードNo.XPF 14.43.0、Y-9378 またはY-9030などのテープ材料を含む。これらの実施態様において使用されるテープ材料は好ましくはポリエチレンフィルムであって、ポリエチレンに接合するように配合されたタブ固着手段が前記テープ材料上に配

置されている。このタブ固着手段は、オシメの他の部分と適当に接合する任意の接着剤であって、好ましくは業界公知の任意の感圧接着剤とする。好ましいタブ固着手段はミネソタ、セントポール、ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング社から入手されるコードNo. XPF 1.42.34などの感圧接着剤とする。

第2図に図示のように、テープタブ80は連結部分78の末端縁71にグリップタブ83を備える。このグリップタブは、連結部分78の縁71を折り返して接着する事によって形成される。これにより、オシメ20を着用者に取り付けて固着する際にユーザが容易に把持する事のできる末端部分を連結部分78上に形成する。グリップタブ83は、使用中に連結部分78を第1固定部分74上に重ね合わせる際に最も有効である。

閉鎖部材58の第1ファスナー要素82は閉鎖部材58とランド部材84との間を開鎖する。すなわち第1ファスナー要素82はランド部材84の第2ファスナー要素88に係合する単数または複数の要素を成

す。従って第1ファスナー要素82は、ボタン、スナップ、フックまたはループファスナーなどの側面閉鎖を成す任意公知の手段とする事ができる。

第1ファスナー要素82は、テータブ80に接合された別個の部材とし、またはテータブ80と一体を成す部材とする事ができる。例えばトップシート80はランド部材84と機械的に係合するようにその上に形成または成形された係合要素を有し（一体型第1ファスナー要素82）、またはテータブ80に対して別個のパッチまたはストリップを接合する事ができる（別部材型第1ファスナー要素82）。好ましくは第1ファスナー要素82はテータブ80のファスナー面70に接合された別個の部材とする。

第1ファスナー要素82は好ましくはテータブ80のファスナー面70に対して接合される。この明細書において、「接合された」とは、特にオシメ20が汚れた後にユーザが第1ファスナー要素82を接着剤固着手段83から引き剥す事ができるようにテータブ80に対して着脱自在に固着される構造

と、第1ファスナー要素82がテータブ80に対して固定的に固着される構造を含む。また「接合された」とは、第1ファスナー要素82がテータブに対して直接に接合された場合と、第1ファスナー要素82を着脱自在に介在部材に固着し、この介在部材をテータブに対して着脱自在に固着する事によって第1ファスナー要素82を間接的にテータブ80に対して接合する場合とを含む。好ましくは第2図に図示のように、第1ファスナー要素82をテータブ80の固定部分78に対して第2タブ固着手段82によって直接に固着する。

第1ファスナー要素82はテータブ80のファスナー面70の任意の箇所に配置する事ができるが、閉鎖部材58が内部ファスナー部材を含む時、第1ファスナー要素82は好ましくは末端区域48のパネル51の中に縦線40に隣接して配置される。閉鎖部材58がテータブ80を含む時、第1ファスナー要素82は、好ましくはファスナー面70の全部または一部に、さらに好ましくは連結部分78の全部または一部に配置される。最も好ましくは第1ファス

ナー要素82は、連結部分78の第1区域（一部）に、テータブ80の末端線71に隣接して配置される。この構造の実施例は、C. ロック スクリップ、「機械的-接着性機械的ファスナーシステム」に記載され、この特許を引例として加える。

第2図は本発明の好ましい実施態様の第1ファスナー要素82を示す。この第1ファスナー要素82はフック固定要素84を含む。この明細書において、フック固定要素84とは係合要素88を有する要素を言う。すなわちこのフック固定要素84はオスファスナーと呼ぶ事ができる。また「フック」とは、係合要素88が補形の第2ファスナー要素88と係合できる限り業界公知の任意の形状を取るという意味で非制限的用語である。図示のように、フック固定要素84は好ましくは、第1面と第2面を有する基体88と、基体88の第1面から突出した複数の係合要素88とを含む。各係合要素88は基体88の第1面の上に支持された軸部94と、軸部94の基体88と反対側末端に配置された拡大ヘッド98とを含む。

本発明の好ましいフック固定要素84はループファスナーの繊維要素と係合してファスナー装置を成すように構成される。従って、このフック固定要素84は各種の材料で製造する事ができる。適当な材料は、ナイロン、ポリエステル、ポリプロピレン、またはその組合せである。ミネソタ、セントポール、ミネソタ マイニング アンド マニユファクチャリング社から入手される「スコッチメート」ブランドN0.FJ3402などの織布ライニングから突出した多数の係合要素88を含む。あるいは、この係合要素88はフック状、T状またはその他業界公知の任意の形状を有する事ができる。特に好ましいフック固定材料は、出願人の同時係属出願第07/007,841号に記載され、これを引例として加える。

機械的ファスナーシステム24のランド部材84は、それ自体と閉鎖部材58とを相互に固着して、オシメの第1末端区域48と、第2末端区域50とを重なり合状態に保持するための手段を成す。ランド部材84は、閉鎖部材58と係合して側面閉鎖を保持す

る限り、オシメ20の任意の場所に配置する事ができる。例えば、ランド部材84は、第2末端区域50の外側面46上に、あるいは第1末端区域48の内側面44上に、あるいは閉鎖部材58と係合するその他の任意の場所に配置する事ができる。さらに、ランド部材84は、オシメ20に固着された別個の要素とし、あるいはオシメ20のトップシート26またはバックシート30などの要素と不可分にまたは連続的に備えられた一体部材とし、あるいは一体部材と別個部材との組合せとする事ができる。ランド部材84は種々のサイズと形状をとる事ができるが、好ましくはバックシート30の一部と、着用のウエストに最もよくフィットするように第2末端区域50の外側面46に配置された単数または複数の別個のパッチとを含む。第1図と第5図に図示のオシメ20の好ましい実施態様は、第2末端区域50の縦線40に隣接して外側面46に固着された細長い長方形のランド部材84を含む。

ランド部材84は好ましくは、テープタブ60の第1ファスナー要素82に係合する第2ファスナー要素86を含む。

ランド部材84は、ループファスナー98などの複数のファイバ要素を備えた第2ファスナー要素86を含む。

第2ファスナー要素86のループファスナー部材88は、フックファスナー部材84の係合ヘッド88に係合するファイバ要素を成す。これらのループファスナー部材88は、ファイバ要素、好ましくはループを成す種々の材料から製造する事ができる。その適当な材料はナイロン、ポリエチレン、ポリエステル、ポリプロピレンまたはその組合せである。適当なループファスナー98は、ミネソタ、セントポール、ミネソタ マイニング アンド マニユファクチャリング社の登録商標「スコッチメート」N0. SJ3401のナイロン編成ループなど、ライニングから突出したファイバーループを含む。また好ましいループファスナー98は、ノースカロライナ グリンスボロのギルフォードミルから市販されている「ギルフォードN0.16110」などのナイロンライニングから突出したナイロンフィラメントループから成るトリコットニットフアブリックで

造86を含む。すなわち、この第2ファスナー要素86は種々の材料から作られ、第1ファスナー要素82に係合する種々の形状を有する事ができる。例えば、第2ファスナー要素86は、第1ファスナー要素82と補形の同一要素とし、または別個の要素とする事ができる。この場合、「補形の同一要素」とは、第1ファスナー要素82と第2ファスナー要素86の係合部材が相互に係合する同一の形状または構造を有する機械的ファスナーシステムを定義するために使用される。このようなシステムの例は米国特許第4,322,875号および米国特許第4,701,179号に記載されている。「補形の別個の要素」とは、第1ファスナー要素82が第2ファスナー要素86と相違する形状を有するが、これに係合する事ができる場合、例えばボタンと穴、フックファスナーとループファスナー、あるいはオス部材とメス部材などを意味する。好ましくは、第2ファスナー要素86は、第1ファスナー要素82がループであるかフックであるかに従って、フックあるいはループとする。第5図に図示のように、

ある。あるいは、ループファスナー98は不織布、あるいはその他任意の型の業界公知のファイバ材料またはループ材料とする事ができる。経済的なループファスナーとその製造方法は米国特許第040,520号に記載され、これを引例として加える。

本発明の使い捨て手段88は、オシメ20を簡便容易に廃棄するための要素を成す。すなわち、使い捨て手段88は、オシメ20を廃棄形状に折り畳みまたは巻き上げてこの形状に保持しオシメ20内部に汚物を収容する事のできる任意の構造を有する。例えば、接着性テープタブ、接着剤固着手段、機械的ファスナー要素、フックファスナー要素、ループファスナー要素、第1ファスナー要素および第2ファスナー要素など、本体部分22上にまたはファスナーシステム24上に配置される種々の要素とする事ができる。

使い捨て手段88は、オシメ20を廃棄形状に保持できる限り、オシメ20の本体部分またはファスナーシステム24のいずれにも配置する事ができる。例えば、使い捨て手段88は、本体部分22の内側面

44上にも、外側面48上にも、第1末端区域48または第2末端区域50上にも、一方または両方のテープタブ60などのファスナーシステム24上にも配置する事ができる。使い捨て手段88は、ファスナー面70上またはテープタブ60の裏あて面72上にも、連結部分78、第1固定部分74、第2固定部分76の上にも、あるいは一方または両方のテープタブ60の要素の任意の組合せ上に配置する事ができる。

さらに、使い捨て手段88はオシメ20に連結された別個の要素とし、あるいはトップシート28、バックシート28または一方の第1ファスナー要素82などのオシメ要素に連続不可分の単一部材としての一体要素とする事ができる(例えば、一方のテープタブの第1ファスナー要素が他方のテープタブの第1ファスナー要素と相補形であつて相互に固着される場合、一方の第1ファスナー要素が使い捨て手段を成す)。使い捨て手段88は各種の要素とし種々のサイズおよび形状を有する事ができるが、好ましい使い捨て手段88は、オシメ20を廃棄するために配置された第2ファスナー要素とし

ての接着剤テープタブまたは機械的ファスナー要素とする事ができる。

第2図と第5図に図示のオシメ20の好ましい実施態様は、少なくとも一方のテープタブ60に固着された第2ファスナー要素108から成る別個要素としての使い捨て手段88を有する。使い捨て手段88は好ましくは各テープタブ60の裏あて面72に固着された第2ファスナー要素108を含む。この第2ファスナー要素108はテープタブ60のファスナー面70に配置する事もできるが、反対側テープタブ60の第1ファスナー要素82が第2ファスナー要素108に容易に固着されてオシメ20の廃棄のためテープタブ60を容易に閉鎖できるように、この使い捨て手段88は好ましくはテープタブ60の裏あて面72に配置される。また第2ファスナー要素108は連結部分78上にテープタブ60の末端縁に隣接して配置される。

使い捨て手段88の第2ファスナー要素108は、本発明のランド部材84として使用される任意の構造を有する事ができる。例えば、第2ファスナー要素

108は一体要素または別個要素とし、フックファスナー部材またはループファスナー部材とし、また補形の単一部材または補形の別個部材とする事ができる。好ましくは使い捨て手段88の第2ファスナー要素108はランド部材84の第2ファスナー要素88と同一の部材とし、好ましくはテープタブ60のファスナー面70上に配置されたフックファスナー部材84と係合可能のループファスナー部材とする。従つて一方のテープタブ60のフックファスナー部材84を他方のテープタブ60の裏あて面72上の使い捨て手段88のループファスナー部材に固着する事ができる。使い捨て手段88の第2ファスナー要素108は、好ましくは裏あて面72に対して、業界公知の接着剤固着手段108によつて、好ましくは圧着接着剤によつて固着される。

オシメ20を使用する際、第1末端区域48を着用者の背中の下に配置し、オシメ20の他の部分を着用者の足の間を引つ張つて、第2末端区域50を着用者の前側に配置する。つぎに、テープタブ60の連結部分78を第2末端区域50の外側面48のランド

部材84に対して固着し、テープタブ60のファスナー面70上に配置された第1ファスナー要素82を第2ファスナー要素88に係合させて側面閉鎖を成す。オシメ20が汚れたとき、オシメ20を着用者から離す。その場合、第2末端区域50のパネル51を内側に折込み、本体部分22を第2末端区域50から折込みまたは巻き込んで、テープタブ60が巻上がったオシメ20から外側に突出する第6図に図示の構造にする。つぎに第7図に図示のように、一方のテープタブ60の第1ファスナー要素82を他方のテープタブ60上に配置された使い捨て手段88の第2ファスナー要素108に固着すれば、オシメ20を巻かれた状態に固定されるので、これをごみ箱に簡単に捨てる事ができる。

第3図に図示の本発明の他の実施態様において、使い捨て手段388はテープタブ380、好ましくはその裏あて面72上に配置された接着剤固着手段110を含むが、これをファスナー面70の一部上に配置する事ができる。またオシメ20が汚れるまで接着剤を露出しないように、使い捨て手段388は接着

剤固着手段110上に配置されたリリースライナー112を含む。接着剤固着手段110はこのような目的で業界で使用されている任意の接着剤または糊を使用することができるが、感圧接着剤が好ましい。リリースライナー112は、接着剤固着手段の乾燥を防止し、使用前に異物に付着する事を防止する。このような目的に使用されている任意のリリースライナーを使用することができるが、適当な例は、アクトシル社製造のBL 30MG-A SILOX E1-0およびBL 30MG-A SILOX 4P/0である。この実施態様においては、オシメ20が汚れて廃棄形状に成された時に、リリースライナー112が接着剤固着手段110から除去されて、接着剤固着手段110が他方のタブ360または本体部分22のバックシート30などに固着されて、オシメ20をその使い捨て状態に固定する。

第4図に図示の本発明のさらに他の実施態様においては、使い捨て手段868はテープタブ460のファスナー面70上に配置された接着剤固着手段114（この実施例においては第2タブ固着手段82）を

含む。テープタブ80の第1ファスナー要素82は接着剤固着手段114によってファスナー面70に対して着脱自在に固着されている。従って、オシメ20が汚れて廃棄形状に成された時に、第1ファスナー要素82が接着剤固着手段114から剥離されて接着剤固着手段114を露出する。露出された接着剤固着手段114を他方のテープタブ460、またはバックシート30、またはオシメ20の他の任意の箇所に固着する事によってオシメ20を廃棄状態に固定する。故に接着剤固着手段114はこのような目的に使用される公知の任意の接着剤とし、感圧接着剤が好ましい。

第8図に図示のさらに他の実施態様においては、使い捨て手段868は本体部分22上に配置された接着剤テープタブ116を含む。この接着剤テープタブは業界公知の任意の接着剤テープタブとする事ができる。このテープタブ116の例は前記の米国特許第3,848,594号に記載されている。接着剤テープタブ116はオシメ20の本体部分22上の任意の箇所に配置することができるが、好ましくは第1末端区域48上

に、オシメ20の末端縁42に隣接して、最も好ましくは末端縁42に沿って横方向にセンタリングして配置され、使い捨て手段868を成す。従って、オシメ20が汚れて折り畳まれたりまたは巻き上げられた後に、ユーザが接着剤テープタブ116をそのリリースライナーから剥離させ、その接着剤を本体部分22のバックシート30または本体部分22に対して固着させて、巻き上げられたオシメ20を閉鎖状態に固定する。

第9図に図示の本発明のさらに他の実施態様においては、使い捨て手段868は2つの接着剤テープタブ118,120を含む。これらの接着剤テープタブは本体部分22上の任意の箇所に例えば各末端縁42に隣接して配置することができるが、好ましくはそれぞれオシメ20の第1末端縁48において、縁縁40に隣接して、最も好ましくはテープタブ80に隣接して配置される。従ってこの実施態様においては、使い捨て手段868は第2対のテープタブを成し、これは着用中のファスナーシステムおよびオシメ20が汚れた後の使い捨て手段として、あるいはオシ

メ20が汚れた後にのみ使い捨て手段として使用される。これらの接着剤テープタブ118,120は、オシメ20を廃棄形状に固定するため、本体部分22のバックシート30などに固着し、あるいは相互に固着して使い捨て手段868として使用される。

本発明は前記の説明のみに限定されるものでなく、その主旨の範囲内において任意に変更実施できる。

図面の簡単な説明

第1図は本発明による実施態様のオシメの部分破断斜視図、第2図は第1図の2-2線に沿ったテープタブの断面図、第3図は本発明の他の実施態様の第2図と同様の断面図、第4図は本発明のさらに他の実施態様の第2図と同様の断面図、第5図は第1図のオシメを着用する際の状態を示す立面図、第6図は本発明のファスナーシステムを使用する前の廃棄状態の第1図のオシメを示す斜視図、第7図は本発明のファスナーシステムを使用した後の廃棄状態の第1図のオシメを示す斜視

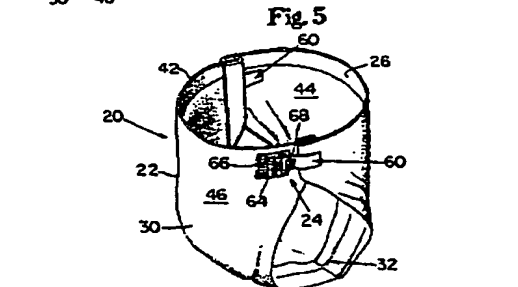
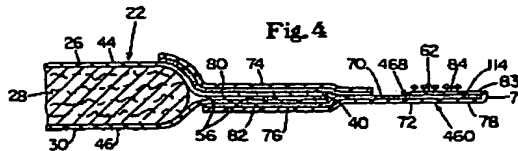
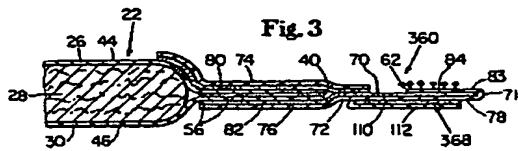
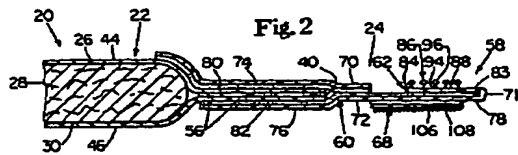
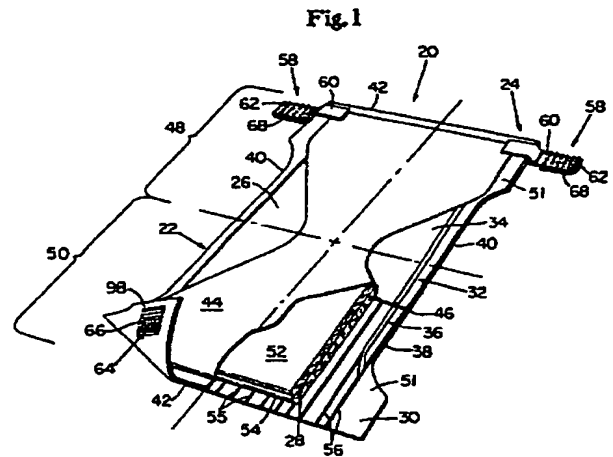
図。第8図は本発明の他の実施態様によるオシメの平面図、また第9図は本発明のさらに他の実施態様によるオシメの平面図である。

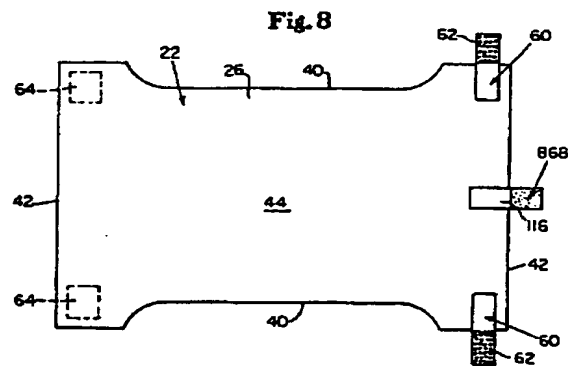
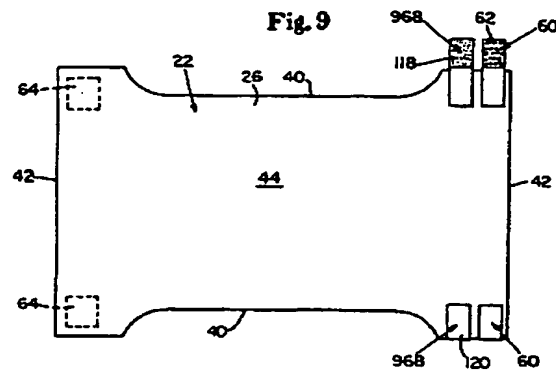
20...オシメ、22...オシメ本体、24...機械的ファスナーシステム、44...本体内側面、48...本体外面、48...第1末端区域、50...第2末端区域、58...肩鎖部材、60...テープタブ、62...第1ファスナー要素、63...接着剤固着手段、64...ランド部材、66...第2ファスナー要素、68...使い捨て手段、70...ファスナー面、71...末端縁、84...ブック固定要素、88...係合要素、98...ループファスナー、368,468,868,988...使い捨て手段。

出願人代理人

佐藤一雄

図面の浄書(内容に変更なし)





第1頁の続き

©Int. Cl. 5

A 44 B 18/00
A 61 F 13/58

識別記号

庁内整理番号

7618-3B

優先権主張

©0000年0月0日©米国(US)©134349

②発明者

チャールズ、ロツク、
アメリカ合衆国ウイスコンシン州、ウオーワトーサ、ウオ
ータータウン、ブランク、ロード、11320

手 続 補 正 書 (方式)

平成 1 年 4 月 27 日

特許庁長官 吉 田 文 毅 殿



1 事件の表示

昭和 63 年特許願第 319338 号

2 発明の名称

使い捨て吸収性製品用の使い捨て手袋
を備えた機械的ファスナーシステム

3 補正をする者

事件との関係 特許出願人

ザ、プロクター、エンド、ギャンブル、
カンパニー

4 代理人 (郵便番号 100)

東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
[電話東京 (211)2321 大代表]

6428 弁理士 佐 藤 一



5 補正命令の日付

発送日 平成 1 年 3 月 28 日

6 補正の対象

願書の出願人の欄、委任状、明細書及び図
面

7 補正の内容

1. 別紙の送り
2. 明細書 (1-7ページ) 及び図面の浄書 (内
容に変更なし)

方式
審査

